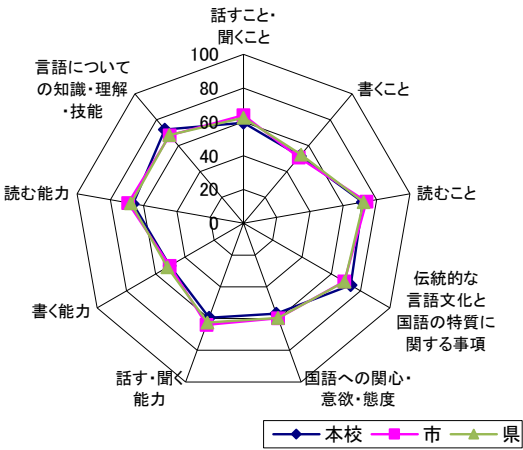


宇都宮市立上河内東小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	59.5	64.0	62.5
	書くこと	51.9	50.9	53.1
	読むこと	71.7	73.9	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.3	68.9	69.1
観点	国語への関心・意欲・態度	56.9	59.9	59.7
	話す・聞く能力	59.5	64.0	62.5
	書く能力	50.3	50.4	52.0
	読む能力	66.4	69.3	67.6
	言語についての知識・理解・技能	72.4	67.9	68.2



★指導の工夫と改善

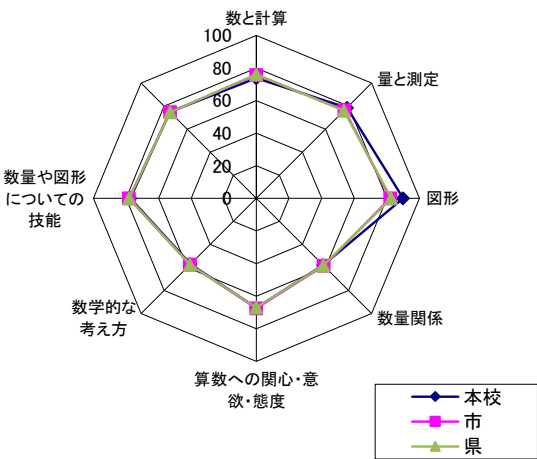
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●話し合いの内容を聞き取り、話題に沿った意見と理由を考えてまとめる問題では、県の正答率を下回っている。	・国語の授業を中心に、話し合いの機会を意図的に設定し、誰もが司会を経験するようにしたり、司会進行のマニュアルを活用したりすることで、司会者の役割などについて理解させたい。自分の意見や考えを、文章で書く機会をもつことで、作文力を身につけさせたい。
書くこと	○自分の考えの中心を明確にして文章を書く問題では、県の正答率を上回っている。 ●自分の考えを指定された長さで書く問題では、県の正答率を下回っている。	・学習活動の中で自分の考えや感想などを文章で表現する機会を増やし、継続的に文章を書く習慣を身につけさせ、書く力を高めていきたい。
読むこと	○文章を読んで内容を的確に読み取る問題では、県の正答率を上回っている。 ●説明文の段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取る問題では、県の正答率を下回っている。	・説明文では、段落のまとまりや段落相互の関係をとらえさせるために、接続語や指示語に気を付けながら、段落の要点をまとめたり、段落のつながりを図で表したりして、内容を構造的に理解させる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読みや書き取り、文の構成（主語と述語）の理解、ローマ字のつづりの問題では、県の正答率を上回っている。 ●漢字の書きでは、県の正答率を下回った問題があった。	・漢字の読みや書き取りについては、教科書の音読を授業や家庭学習において毎日行うとともに、ドリルや学習プリント等で何度も繰り返し練習し、しっかりと習熟させたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	73.8	75.8	76.1
	量と測定	78.6	76.5	76.0
	図形	90.0	82.1	82.7
	数量関係	58.0	58.4	58.2
観点	算数への関心・意欲・態度	67.1	67.4	67.0
	数学的な考え方	57.1	57.5	57.7
	数量や図形についての技能	77.4	78.2	78.1
	数量や図形についての知識・理解	75.2	74.8	74.9



★指導の工夫と改善

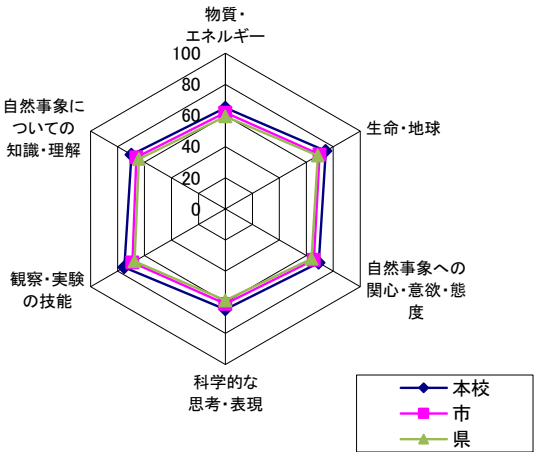
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○かけ算の2けた×2けたの問題では、県の正答率を上回っている。 ○大きい数の十進位取り記数法の問題では、県の正答率を上回っている。 ●整数－小数第一位の計算の問題では、県の正答率を下回っている。 ●数の相対的な大きさについての問題では、県の正答率を下回っている。	・筆算の位をそろえて計算したり、繰り下がりの数字を書かせたりすることを徹底するとともに、見積もりや見直しなども習慣づけるようにしていきたい。 ・数直線や図など使い、分数の大きさについてもう一度確認をさせ定着を図りたい。 ・家庭学習などで既習した学習内容を繰り返し行うようにしていきたい。
量と測定	○道のりの理解については、県の正答率を上回っている。	・家庭学習などで既習した学習内容を繰り返し行うようにしていきたい。
図形	○円の直径の問題や、球の半径から箱の辺の長さを求める問題、正三角形を作図する問題では、県の正答率を上回っている。	・家庭学習などで既習した学習内容を繰り返し行うようにしていきたい。
数量関係	○□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問題では、県の正答率を上回っている。 ●棒グラフを正しく読み取る問題では、県の正答率を下回っている。	・棒グラフについては、数量の大小や差、最大値や最小値などについて読み取れるよう習慣付けたい。算数科の指導だけでなく、社会科や国語科の授業の中でもグラフの読み取り方をその都度復習することで定着を図りたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	65.0	61.9	59.4
	生命・地球	74.4	69.8	68.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	69.2	65.6	63.9
	科学的な思考・表現	64.6	61.0	58.8
	観察・実験の技能	75.0	69.0	67.4
	自然事象についての知識・理解	69.7	66.1	64.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○「風やゴムのはたらき」の風のはたらきを説明したり、推測したりする問題では、県の正答率を上回っている。 ○「物の重さ」の形を変えても重さは変わらないことや種類の異なる同体積の物体の問題では、県の正答率を上回っている。 ●「電気の通り道」の豆電球がつかなかった理由を推測する問題では、県の正答率を下回っている。 ●「磁石の性質」の磁石の極の性質の問題では、県の正答率を下回っている。	・具体物を操作させるなどして、回路の意味や磁石の極の性質についてもう一度確認させる。
生命・地球	○「昆虫の体のつくり」の昆虫を見分ける問題では、県の正答率を上回っている。 ○「太陽と地面のようす」の太陽とかげの動きについての問題では、県の正答率を上回っている。 ●「身近な自然」の観察の植物のちがいやダンゴムシを正しく観察する問題では、県の正答率を下回っている。 ●「昆虫の育ち方」のモンシロチョウがたまごから成虫になるまでの期間やヤゴの正しい飼い方の問題では、県の正答率を下回っている。	・身近な自然や生き物の観察については、4年生でもう一度学習をする機会がある。実際に観察をしたり、操作をしたりする活動を通して学習内容を定着させていきたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。」「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」「勉強して、おもしろい、楽しいと思うことがある」という問いに対しての肯定割合が高い。学習の必要性を意識したり、意欲的な態度で学習に取り組んだりしている児童が多い。

○「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、テストで間違えた問題について勉強している」「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」という問いに対しての肯定割合が高い。家庭での学習について、問題意識をもったり、家庭での学習習慣を意識したりしている児童が多い。

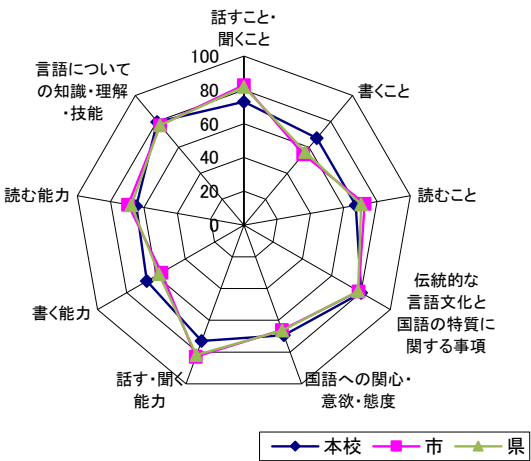
●読書については、1か月に読む冊数が少ない児童の割合が低かったり、逆に1冊も読まない児童の割合が高かったりしている。読書を積極的に行っている児童の割合が低い傾向がみられるため、読書をする時間や良書に接する機会などを確保するようにしたい。

●「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」という問いに対しての肯定割合がおおよそ半数である。文章で自分の考えなどをまとめることに苦手意識をもっている児童も半数見られる。学習活動の中で、継続的に文章を書く習慣を身につけさせ、書く力を高めていきたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	73.0	82.9	81.8
	書くこと	67.1	54.8	56.5
	読むこと	67.3	72.6	70.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.2	78.4	78.1
観点	国語への関心・意欲・態度	69.3	66.0	66.4
	話す・聞く能力	73.0	82.9	81.8
	書く能力	66.3	56.3	57.9
	読む能力	64.6	69.5	67.6
	言語についての知識・理解・技能	79.6	77.2	77.1



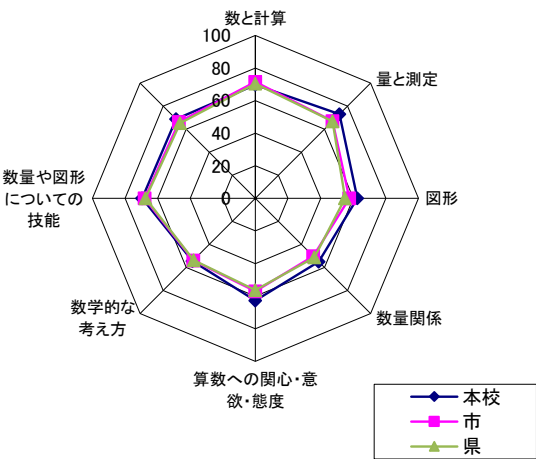
★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの内容を聞き取ることができるので、今後も聞く力を伸ばしていきたい。 ●話し合いにおいて司会者の役割を理解し、参加者の発言の共通点をまとめる問題では、県の正答率を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・国語の授業を中心に話し合いの機会を意図的に設定し、司会進行の仕方を教科書の例を参考にしながら役割を確認させるとともに、経験を増やしていくようにする。
書くこと	○アンケートの調査結果から読み取ったことを指定された長さで2段落構成で書くという問題では、県の正答率を上回っている。 ●意見をもとにポスターの主旨にあった文を選ぶという問題では、県の正答率を下回っている。	・低学年の頃から行っている視写や週末の作文が日常化し、書くことに抵抗感なく取り組んでいるので、今後も継続して指導していきたい。さらに、前後の文とのつながりを意識し、主旨に合った内容を的確に書くという活動を取り入れていきたい。
読むこと	○物語文において、場面の様子と登場人物の気持ちを読み取る問題では、県の正答率を上回っている。 ●説明文において、文章の内容を的確に読み取る問題では、県の正答率を下回っている。	・段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取ることができるように、指示語の指す意味を具体的に考えたり、接続語に注意して要点をまとめたりする等説明文の読み取り方を理解させたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の書き取り、指示語の使い方、漢字辞典の使い方の問題では、県の正答率を上回っている。 ●漢字の読みの問題では、県の正答率を下回った問題があった。	・漢字の読みについては、教科書の音読を授業や家庭学習において毎日行うとともに、ドリル等で何度も繰り返し練習し、しっかりと習熟させたい。また、日常的に既習の漢字を使わせるようにしたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	69.7	71.5	70.4
	量と測定	73.0	67.0	66.9
	図形	62.5	57.6	55.0
	数量関係	54.8	50.2	51.1
観点	算数への関心・意欲・態度	62.7	57.0	56.3
	数学的な考え方	54.5	53.8	53.6
	数量や図形についての技能	69.5	68.0	67.4
	数量や図形についての知識・理解	68.8	66.3	65.4



★指導の工夫と改善

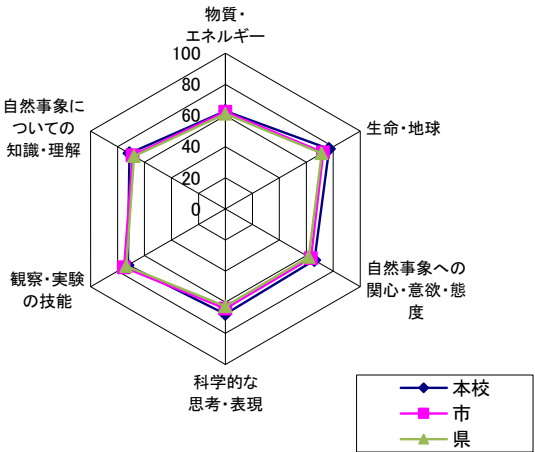
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○小数のかけ算、わり算の問題では、県の正答率を上回っている。 ●小数＋整数の計算では、県の正答率を下回っている。	・小数点の位置(位取り)の再確認をし、既習事項を復習させる。 ・家庭学習や朝の学習等で既習内容を繰り返し行うようにしていきたい。 ・概数においての理解が不十分であるので、既習内容を繰り返し復習したり、授業の中で意識的に扱ったりしていきたい。
量と測定	○長方形や複合図形の面積の求め方については、県の正答率を上回っている。	・面積の求め方において、公式を機械的に覚えるのではなく意味をしっかりと理解しているようである。今後もその考え方を生かしながら理解を深めたり、広げたりしていきたい。
図形	○平行四辺形の特徴、ひし形の作図、直方体の垂直な辺を答える問題では、県の正答率を上回っている。	・図形の特徴や対角線の性質などを用いた応用問題を授業や家庭学習等で取り上げ、さらに理解を深めさせたい。
数量関係	○四則の混じった式の計算の順序を答える問題では、県の正答率を上回っている。 ●伴って変わる2つの数量の関係をみつけ、式に表す問題では、県の正答率を下回っている。	・考え方を自分の言葉で説明する活動を数多く取り入れていきたい。 ・変化と対応のきまりについていくつかの例を示し、それをもとに考えられるよう復習する。

宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	62.9	62.4	61.1
	生命・地球	76.9	72.5	71.4
観点	自然事象への関心・意欲・態度	65.9	63.4	61.7
	科学的な思考・表現	67.6	64.1	62.6
	観察・実験の技能	72.4	75.2	73.5
	自然事象についての知識・理解	71.3	68.8	67.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○水をあたためると体積が大きくなること、水が氷になるときの体積変化、金属のあたため方について説明する問題では、県の正答率を上回っている。 ●水を熱したときの温度変化をグラフから読み取る問題では、県の正答率を下回っている。	・実験の結果から分かることについて答える問題においてはよく理解している。 ・水の状態変化についてはよく理解しているので、温度変化についての復習を行う。
生命・地球	○月と星についての問題においては、すべて県の正答率を上回っている。 ●正しい気温の計り方を答える問題においては、県の正答率を下回っている。	・日常生活においても理科学的な視点をもって生活できるようにさせたい。 ・百葉箱で実際に温度を計測したことを思い出させ、具体的に理解を深めさせるようにする。

宇都宮市立上河内東小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分で計画を立てて勉強している」「家で学校の授業の予習、復習をしている」「家でテストで間違えた問題について勉強している」「学校の宿題はやりたくなる内容だ」「学校の宿題は自分のためになっている」という問いに対して、県の肯定割合より上回っている。家庭でも学習に対する意識が高く、意欲的に取り組んでいることがわかる。

○「勉強していておもしろい、楽しいと思うことがる」「勉強していて不思議だな、なぜだろうと感ずることがある」「疑問や不思議に思うことはわかるまで調べたい」という問いに対して、県の肯定割合を上回っている。学習について問題意識をもって、意欲的に取り組んでいることがわかる。

●「一日当たりどれくらいの時間勉強をしているか」、「土曜日や日曜日に1日当たりどれくらいの時間勉強しているか」については、県の肯定割合を下回っている。学習しようとする意欲や態度は育っているが、学習時間が十分ではないと思われるので、家庭学習の定着を図るだけでなく学習時間も伸ばしていけるようにしたい。

宇都宮市立上河内東小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた取り組み	毎日課題を出して家庭学習の習慣化を図りながら、実態に応じて自主学習を奨励し、計画を立てて学習する態度の育成に努める。	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、4年生85%、5年生95.2%と、県平均を上回っていた。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
国語の読む能力の正答率が4・5年生ともに県平均を下回っていた。	読解力をつけるための学習の充実	朝の学習や、家庭学習の課題で文章問題に取り組ませ、初めて読む文章でも、接続詞や指示語に注意して内容を正しく読み取れるようにする。